

平成 27 年度
消費者庁請負事業

消費者教育ポータルサイト掲載情報
に関する評価書作成事業
報告書

平成 28 年 3 月

公益財団法人 消費者教育支援センター

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 事業の実施内容 | 1 |
| 2. 教材評価書の作成について | 2 |
| (1) 評価書に記載した情報 | |
| (2) 教材評価書 | |
| 3. 消費者教育ポータルサイト掲載情報の評価に向けた今後の課題 | 19 |

1. 事業の実施内容

消費者庁が運用している情報検索サイトである「消費者教育ポータルサイト」には、消費者教育を担う講師、学校の教員等を主な利用者とする消費者教育関連の教材、取組、講座等の情報が登録され、提供されている。「消費者教育の推進に関する法律」（平成24年法律第61号）に基づき設置された消費者教育推進会議の第一期会議（平成25年3月～平成27年3月）が取りまとめた「消費者教育推進会議取りまとめ」（平成27年3月公表）のうち、「情報利用促進小委員会取りまとめ」において、消費者教育ポータルサイトに掲載されている情報を、利用者が活用しやすいサイトにする必要があるという意見が示され、「消費者教育ポータルサイト掲載情報評価等検討会」を開催し、以下の3つの事項を行うことが提案された。

- ① 消費者教育支援ポータルサイト掲載ガイドライン及び情報の有効性等に照らし、第三者の立場から掲載情報の適否を判断すること。
- ② 利用者が教材等を選択する際に役立つ評価に関する情報を示すこと。
- ③ その他、掲載情報の利活用に関する検証・評価に係ること。

以上を踏まえ、本事業では、有識者からなる消費者教育ポータルサイト掲載情報評価等検討会（平成27年度）を立ち上げ、上記②「利用者が教材等を選択する際に役立つ評価に関する情報を示すこと」について試行的に取り組んだ。具体的には、同検討会において、消費者教育ポータルサイトに掲載されている教材について試行的な評価を行い、教材評価書案の作成を通じて、教材の検索を容易とするために示すべき情報の整理の仕方について検討を行った。

<事業スケジュール>

| | |
|------------------|--|
| 平成27年11月 | 消費者庁との事前調整等、検討会構成員の選定と依頼 |
| 平成27年12月～平成28年1月 | 教材評価書案の作成、検討会構成員との調整等 |
| 平成28年2月 | 消費者教育ポータルサイト掲載情報評価等検討会（平成27年度）の開催（平成28年2月22日） 教材評価書案の修正、検討会議事録案の作成・提出 |
| 平成28年3月 | 事業報告書（教材評価書、検討会議事録を含む）の作成・提出 |

2. 教材評価書の作成について

消費者教育ポータルサイト掲載情報評価等検討会（平成 27 年度）では、消費者教育ポータルサイトに掲載されている教材、取組、講座（以下「教材等」）のうち、平成 27 年 4 月 1 日から 10 月 15 日までに登録済みの無料教材（13 件）についての「評価書案」（一教材あたり A 4 版 1 ページ）を作成し、教材の概要や特徴、利用者が教材を選択する際に役立つ評価に関する情報を盛り込んだ。

（1）教材評価書に記載した情報

教材評価書の上段には、教材に関する基本情報として、消費者教育ポータルサイトに登録されている教材の「種類（形態・媒体）」、「タイトル」、「制作／著作（者）」、「消費者教育の体系イメージマップ」の分類である「ライフステージ」と「領域」、「教材の概要・特徴」を記載した。これらの基本情報については、情報提供者によって消費者教育ポータルサイトに登録された情報を委員と事務局において検証し、実情に即した情報に再整理したものをまとめた。

その後段に、学校の授業や地域での講座で、担い手（教員・講師等）が教材を使用・選択する際に役立つ情報、さらに、自主学习用として使用・選択する際に役立つ情報を記載した。具体的には、「こんな方におすすめ」、「活用の場面」、利用に当たって「必要な予備知識・スキル」、「必要な機器類」、「実施等に必要な時間」、「付属資料（の有無）」、「その他」として、実際の教材（電子媒体）を確認の上評価し、その結果を情報として記載した。

各項目は以下のような観点でまとめている。

● 教材の概要・特徴

教材の内容がすぐに分かる「目次」を記載し、目次だけでは分かり難いものなどに補足情報を加えた。また、教材全体のボリュームが分かるように、冊子等の総ページ数、映像教材の収録時間等の情報も付け加えた。

● こんな方におすすめ

基本的に、教材を効果的に使用・選択することが期待される担い手（教員や講師等）を記載し、自主学习用の観点についても追加した。冊子や映像は自分で見て学習することが可能だが、一部、授業や講座での利用を想定した教材（ワークブック等）があった。

● 活用の場面

教材の指導書や手引きに活用の場面について具体的な記載がある場合には、その情報を紹介した。また、授業や講座で部分的に使えるような場合には、部分的な活用が可

能という情報を付け加えた。

● **必要な予備知識・スキル**

教材に関する指導書や手引きがある場合は、教材で扱っている内容の解説や教材の使い方について紹介されているので、基本的に予備知識・スキルは不要とした。一方、教材に関する指導書や手引きがない場合には、教材で扱っている内容に関する基礎知識やスキル（例：絵本・紙芝居等の読み聞かせに適した話し方）を例示した。

● **必要な機器類**

授業や講座で使用する場合に必要となるものとして、特に映像等を投影するために必要なパソコンやプロジェクター等の機器のほか、教材によってはソフト（アプリ）やインターネットの接続に関する情報も掲載した。

● **実施に必要な時間**

指導書・手引きで示されている授業・講座時間を示したほか、部分的な活用例についても記載し、動画の場合は再生に要する時間を示した。

● **付属資料**

教材に関する指導書・手引き、ワークシート等の有無を示した。

● **その他**

利用者に参考になり得る情報（例：教材がホームページからダウンロードできるか）を示し、教材が掲載されているホームページを見て分かる関連情報（例：教材を活用した取組情報の有無、外部機関の評価情報等）も掲載した。

（２）教材評価書

本事業では、次の教材リストに掲載されている 13 の教材を対象に検討を行い、試行的に教材評価書を作成した。教材リストと各教材評価書については以下のとおり。

◆ 教材評価対象リスト

| 登録 | タイトル | 概要 | 利用者の立場1 | 利用者の立場2 | 利用者の立場3 | ライフステージ1 | ライフステージ2 | ライフステージ3 | ライフステージ4 | ライフステージ5 | ライフステージ6 | ライフステージ7 | 領域1 | 領域2 | 領域3 | 領域4 | 提供場所URL | 価格 | 出所 | 公開 | 形態・媒体 | 形態・説明 | 登録日 | 備考 |
|----|--|---|---------|---------|---------|------------|-----------|------------|------------|-----------|----------|----------|----------|------------|------------|----------|--|----|---------------------|----|---------|---|-----------|---|
| 1 | Web版消費者教育読本 ～しっかり考え楽しくチャレンジ～を始めよう！自分でおいび | フラッシュアニメーション形式で、授業を想定し、Web版読本(オンライン教材)・ワークシート・指導者用資料(パワーポイント)の3種類をセットにして「<ステージ1><ステージ2>」を学習する仕組みとなっています。<ステージ1>では買い物の計画を立て、<ステージ2>では買い物の疑似体験を通して、各ステップの終りには、生徒による疑似体験授業の発表をもとに、授業者がポイントを指導し、まとめのクイズをする構成になっています。また、<ステージ3>では、総復習としてチャレンジクイズを用意しています。指導書では、Web版読本の具体的な進め方、関連する法律の解説、指導計画例と授業展開例も掲載しています。 | 学校で教える方 | 自学する方 | | 小学生 | | | | | | | 生活の管理と契約 | 消費者市民社会の構築 | | | https://www.shouhisaiikatsumetro.tokyo.jp/center/kyoiku/w eb/shou02/ | 無料 | 東京都消費生活総合センター | 公開 | 冊子教材 | オンライン教材(インターネット経由)、先生のための資料Microsoft Powerpointファイル(ダウンロード可)、指導書&ワークシートPDFファイル(ダウンロード可) | 2015/10/5 | |
| 2 | CONSUMER'S EYE ~消費者の眼(学生・新社会人編) | 若者を対象とした消費者教育副読本。インターネットトラブル、悪質商法、契約トラブル、クレジットと金融問題、契約と関連法、クーリング・オフについてわかりやすく説明。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | | 高校生 | 成人期(特に若者) | | | | | | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | | https://www.pref.kushima.lg.jp/upload ed/attachment/128456.pdf | 無料 | 福島県 | 公開 | 冊子教材 | 31ページ | 2015/9/30 | |
| 3 | 幼児向け消費者教育教材「おかいものいこう！」 | 京都市では、幼児期(主に年長児)の消費者教育に取り組むため、保育所(園)・幼稚園の授業等で先生に読み聞かせていただくことにより、お子さま自身が消費者力を身につけていただくことを目的に、大塚絵本「おかいものいこう！」を作成しました。 | 学校で教える方 | | | 幼児期 | | | | | | | 商品等の安全 | 生活の管理と契約 | | | http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000184079.html | 無料 | 京都市 | 公開 | 冊子教材 | 保育所(園)・幼稚園で、先生方が子どもたちに読み聞かせていただく絵本です。主人公の「にやんた君」が園とともに買い物に出かける「目」を描いています。買い物物の途中、にやんた君が、おもちゃなど興味を引かれるものに遭った場面で、子どもたちにそのときの行動を選択させる仕組みがあり、また、教育のポイントをまとめたチャレンジ質問について考えるなど、ストーリーに沿って進めていきながら、消費者力を身につけていくこととするものです。 | 2015/9/1 | |
| 4 | 【啓発動画】インターネットトラブルにご注意を！ | 京都市では、大学生の皆さんと、インターネットを巡るトラブルのうち典型的な手口を紹介する動画を共同で制作し、注意すべき点や要点をわかりやすく説明しています。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | 自学する方 | 中学生 | 成人期(特に若者) | 成人期(特に高齢者) | 成人期(成人一般) | 高校生 | | | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | | http://www.city.kyoto.lg.jp/issaku/bango/0000187518.html | 無料 | 京都市 | 公開 | オンライン教材 | 11分26秒の注意喚起動画 | 2015/8/21 | 動画はYouTubeで配信 同志社女子大学情報メディア学科学学生産成動画PG動画制作 |
| 5 | マイナンバー制度について | マイナンバー制度について、これだけは知っておきたいことをわかりやすく説明している資料です。一般の方、事業者の両方にご利用頂けます。 | 学校で教える方 | 自学する方 | 地域で教える方 | 幼児期 | 高校生 | 成人期(成人一般) | 成人期(特に高齢者) | 成人期(特に若者) | 中学生 | 小学生 | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | | http://www.cas.go.jp/jp/issaku/bango/seido/download/shoutengai.pdf | 無料 | 内閣府大臣官房番号制度担当室 | 公開 | 冊子教材 | マイナンバー制度に関する資料 | 2015/8/5 | |
| 6 | 動画でみるマイナンバー | マイナンバーキャラクターのマイナちゃんが、マイナンバー制度についてわかりやすく説明します。 | 学校で教える方 | 自学する方 | 地域で教える方 | 幼児期 | 成人期(特に若者) | 成人期(特に高齢者) | 成人期(成人一般) | 高校生 | 小学生 | 中学生 | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | | http://netv.gov-online.go.jp/pg/prg/11626.html?r=123&g=1 | 無料 | 内閣府大臣官房政府広報室 | 公開 | オンライン教材 | 14分33秒の動画 | 2015/7/24 | 政府広報オンラインでフラッシュ動画 |
| 7 | 電子紙はいばい(なりすまし詐欺) | 悪質商法の手口を手作り電子紙はいばいわかりやすく紹介しています。 | 地域で教える方 | 自学する方 | | 成人期(特に高齢者) | | | | | | | 生活の管理と契約 | | | | http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005b/syuhisyakyo/jukusenryou.htm#fukushiai | 無料 | 福島県消費生活課 | 公開 | オンライン教材 | 電子紙はいばい(mp4ファイル) | 2015/6/16 | MP4ファイル 手書きの紙芝居音声あり |
| 8 | Consumer's Why みんな消費者 | 佐賀大学経済学部法務管理コースの学生が高校生でも分かるようなテキストの原稿を執筆し、当フォーラムの弁護士・司法書士・消費生活相談員がアドバイスをして作成し、HPから誰でもダウンロードできるようにした。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | 自学する方 | 高校生 | 成人期(特に若者) | 成人期(成人一般) | | | | | 商品等の安全 | 情報とメディア | 消費者市民社会の構築 | 生活の管理と契約 | http://www.saga-consumerforum.or.jp/main/940.html | 無料 | 特定非営利活動法人佐賀消費者フォーラム | 公開 | オンライン教材 | 佐賀消費者フォーラムのHPからダウンロードして利用可能です。 | 2015/6/6 | |
| 9 | おぼえてください！「間伐材マーク」 | 「間伐材マーク」のついた製品を選ぶことで、日本の森林を健全に育てることに貢献できます。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | 自学する方 | 小学生 | 成人期(特に若者) | 中学生 | 高校生 | | | | 商品等の安全 | 消費者市民社会の構築 | | | http://www.zenmoni.org/kanbatsu/mark/ | 無料 | 全国森林組合連合会 | 公開 | 配布資料 | チラシ形式(1ページ) | 2015/6/5 | |
| 10 | 自転車危険 | 「自転車に潜む危険」を、子どもたちに直感的にわかりやすく伝えるための啓発ビデオです。衝突、転倒、溝にはまる、縁石に乗り上げる等の実験映像を使い、自転車事故の「こわさ」を数値や映像で表現しています。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | 自学する方 | 小学生 | | | | | | | 商品等の安全 | | | | http://www.sozogak.com/kkengaku1/news/info_20150502v91.html | 無料 | 畑村創造工学研究所危険学プロジェクト | 公開 | 映像教材 | 11分42秒 | 2015/6/4 | MP4ファイルでダウンロードはできない |
| 11 | 小学校高学年向け製品安全ワークブック(及びワークシート、教員向け手引き) | 製品安全を確保するための、製造・輸入事業者、販売事業者、使用者のそれぞれの役割や、安全を示すための教材です。O・N・Eを基に、身近な家庭用製品の誤った使用による事故を防ぐため、事業者とも協力しながら、これらの教材を用いた出前授業や事故品の見学、製品安全に向けた取組の現場体験等を実施しています。 | 学校で教える方 | 地域で教える方 | | 小学生 | | | | | | | 商品等の安全 | 消費者市民社会の構築 | | | http://www.meti.go.jp/product_safety/c onsumer/kyoiku.html | 無料 | 経済産業省 製品安全課 | 公開 | 冊子教材 | 小学校高学年向け製品安全ワークブック、ワークブックに対応した専用ワークシート、教員向け手引き | 2015/6/4 | |
| 12 | 自分で点検！ハンドブック | 住宅の設備・建材など住宅部品の劣化状態を点検によって早期に発見することにより、事故や被害の発生を未然に防ぎ、居住者自ら住宅部品の不具合や異常の有無をチェックできるよう、点検方法をイラストと解説でわかりやすくまとめた点検表 | 地域で教える方 | 自学する方 | | 高校生 | 成人期(成人一般) | 成人期(特に若者) | | | | | 商品等の安全 | | | | http://www.alanet.org/guideline/handbook/ | 無料 | 一般社団法人リビングアムニティ協会 | 公開 | オンライン教材 | A4サイズ全16ページのPDFデータをホームページよりダウンロードする形で提供提供 | 2015/4/22 | |
| 13 | Web版消費者教育読本 もしも未来が見えたら～いつかクレジットカードを使う日～ | 「クレジットカードを作ってみよう」「クレジットカードで買い物してみよう」「クレジットカードは計画的に利用しよう」の3つのステップの疑似体験やワークシート、O・N・Eを通じて基礎知識や実践力を身に付けます。さらに消費者信用や多重債務問題を学び、高校卒業後の実生活で適切な意思決定に基づき行動する力を養います。高校の授業のほか社会人の方の自主学習にも活用できます。(指導書付き) | 学校で教える方 | 自学する方 | | 高校生 | 成人期(成人一般) | 成人期(特に若者) | | | | | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | | http://www.shouhisaiikatsumetro.tokyo.jp/manabikai/kyoica /main/038.html | 無料 | 東京都消費生活総合センター | 公開 | オンライン教材 | 学校の授業で活用していただくことに重点を置き、教員向けの指導者用資料(パワーポイント)と指導書(授業展開例・ワークシート解答例)も作成しました。Web版消費者教育読本、ワークシート、指導者用資料(パワーポイント)をセットで授業を進めることができます。分封扱いの印刷用・利息計算プログラム(エクセル)も利用できます。 | 2015/4/14 | |

◆消費者教育教材評価書 評価・記載方法

| | |
|----------|---|
| 登録 | 教材の形態・媒体(冊子教材、映像教材等) → 適切か確認 |
| タイトル | |
| 制作／著作 | |
| ライフステージ | 消費者教育の体系イメージマップの分類 → 適切か確認 |
| 領域 | 消費者教育の体系イメージマップの分類 → 適切か確認 |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者教育ポータルサイトの登録内容を基に再構成 ・ 教材の内容がすぐわかるように目次を記載(補足あり) ・ 教材の体裁がすぐわかるように冊子等の総ページ数等を記載 ・ 学習指導要領に基づいている場合 → 記載 |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|--|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材や指導書に記載されている情報を基に具体的に記載 ・ 教員 → 学校段階、担当教科等が分かれば具体的に記載 ・ 講師 → 自治体の消費生活相談員、職員等を具体的に記載 | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材や指導書に記載されている情報を基に具体的に記載 ・ 自主学習用、部分的な活用ができる場合 → 記載 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導書がある場合 → 特に不要(参考となる箇所を記載) ・ 指導書がない場合 → ～関する基礎的な知識があるとよい ・ スキルは、媒体や特徴に応じて記載(読み聞かせ等) |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像等の投影 → パソコン、プロジェクター等 ・ パワーポイント等のプレゼンテーションソフト ・ オンライン教材 → インターネットの接続に関する情報 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導書や手引きで示されている授業・講座の時間 ・ 授業・講座での部分的な活用例 ・ 動画の再生時間 |
| 付属資料 | なし ・ あり () | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に参考になる情報を記載 (例)教材の使い勝手(ホームページからダウンロードできるか)等 ・ 教材が掲載されているホームページを見て分かる関連情報 (例)教材の取組情報の有無、外部機関の評価情報等) | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | |
|----------|--|------------|---------|-------------|
| 登録 | 1 | 冊子教材 | オンライン教材 | ※ポータル登録修正必要 |
| タイトル | Web版消費者教育読本 ～しっかり考え 楽しくチャレンジ～ さあ始めよう！自分でお買い物 | | | |
| 制作／著作 | 東京都消費生活総合センター | | | |
| ライフステージ | 小学生期 | | | |
| 領域 | 生活の管理と契約 | 消費者市民社会の構築 | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生高学年向けの買い物学習教材。アニメーション形式で進行し、買い物で必要となる計画性や表示の確認等について学ぶことができる。 ● 【目次】（ステージ1）買い物の計画を立てよう （ステージ2）夕飯の材料をスーパーで買ってこよう、チャレンジクイズ ● 指導書（全32ページ、ワークシート3枚含む）、指導者用資料（パワーポイント52スライド）があり、学習指導要領を踏まえ、現場の先生方のニーズに配慮している。 | | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手（教員・講師等）が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校家庭科の教員 ● 小学生高学年を対象とする啓発講座（親子講座）を担当する消費生活相談員等 | | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校家庭科の授業（5～6年、内容A・B・D） 詳細は、指導書の教材紹介と授業展開例を参照のこと。 ● （教員等の指導・助言のもと）小学生の自主学習用に利用することもできる。 | | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 特に必要なし （指導書の第3章に関連する法律の解説がある） | |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 投影には、パソコン、プロジェクター、スクリーン等 ● パワーポイント、フラッシュ動画再生ソフト ● オンライン教材にアクセスできるインターネット環境 | |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書（第4章）に小学校家庭科での授業展開例が示されている ①5年生の指導計画5時間のうちの1時間 ②6年生の指導計画12時間のうちの1時間 ③6年生の指導計画14時間のうちの1時間 | |
| 付属資料 | なし ・ あり （ワークシート、指導書等） | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都のホームページ「東京くらしWeb」から指導書、指導者用資料をダウンロードすることができる。 ● 「東京くらしWeb」で、他のWeb版消費者教育読本を見ることができる。 http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/kyouzai/webkyouzai.html ● 消費者教育教材資料表彰（消費者教育支援センター主催）の平成26年度優秀賞を受賞。 | | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|---|---------------|--|
| 登録 | 2 | 冊子教材 | |
| タイトル | CONSUMER'S EYE ～消費者の眼【学生・新社会人編】 | | |
| 制作／著作 | 福島県 | | |
| ライフステージ | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | |
| 領域 | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 若者が遭いそうな消費者トラブル例を見開き2ページで整理した教材(全31ページ)。4コマ漫画や図表を用いて解説している。 ● 【目次】 インターネット・トラブル、悪質商法、契約トラブル、相談事例へのアドバイス、契約って何?、クーリング・オフ制度、クレジットと金融問題 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生、大学生、新社会人を対象とする啓発講座を担当する消費生活相談員等(特に福島県内の消費生活相談員等) ● 高校の家庭科・公民科等の教員 | | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生対象の啓発講座や授業 ● 大学生等を対象とする啓発講座(オリエンテーション等) ● 企業での新社会人等を対象とする啓発講座・研修 ● (授業・講座後に)高校生等の自習学習用としても活用できる。 | | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書はないので、授業・講座をする場合は、若者に多い消費者トラブルや契約の基本、クーリング・オフ、クレジット関連の基本的な知識があるとよい。 | |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 啓発講座用に拡大したもの(プレゼン用スライド)を用意できるとよい。 | |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 1時間程度の講座で、掲載事例を選択して、ポイントを解説する使い方ができる。 | |
| 付属資料 | なし・あり() | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 冊子は、福島県金融広報委員会と福島県教育庁高校教育課の協力で作成。 ● 福島県内の高校・大学に1学年分配布し、出前講座(講師派遣)の案内もしている。 ● 福島県(消費生活課)のホームページから、冊子をダウンロードすることができる。 | | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|---|----------|-------------------------|
| 登録 | 3 | 冊子教材 | |
| タイトル | 幼児向け消費者教育教材「おかいものにいこう！」 | | |
| 制作／著作 | 京都市消費生活総合センター | | |
| ライフステージ | 幼児期 | | |
| 領域 | 商品等の安全 | 生活の管理と契約 | 消費者市民社会の構築 ※ポータルの登録修正必要 |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児向けのお買い物について扱った大型絵本。ストーリーの途中で幼児に選択をせまる場面があり、お買い物で気をつけたいことを学ぶ内容となっている。 ● 保護者向けの「ワークブック」と幼児向けの「がんばりシート」があり、絵本で紹介されたチャレンジ項目をクリアするとシールを貼り、目標を達成していく仕掛けが用意されている。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|--|---|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児(主に年長児)を対象に「読み聞かせ」をする人 ● 保育所(園)・幼稚園の教員、保護者 | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児(主に年長児)を対象とする教育活動・講座、保護者を交えた親子講座での読み聞かせ。 ● お買い物ごっこ(体験活動)と関連づけて実施することもできる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 絵本・紙芝居等の読み聞かせに適した話し方ができるとよい。 |
| | 必要な機器類 | — |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 読み聞かせには15～20分程度 ● 買い物ごっこなどと組み合わせたワークショップ(1時間程度)が考えられる。 |
| 付属資料 | なし・あり(保護者向けワークブック、幼児向けワーク) | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 京都市のホームページ「京都市情報館」から冊子をダウンロードすることができる。 ● シールは自分で用意する必要がある。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | |
|----------|---|---------|----------------|---------------|
| 登録 | 4 | オンライン教材 | 映像教材 | ※ポータル登録修正必要 |
| タイトル | 【啓発動画】インターネットトラブルにご注意を！ ～架空請求トラブル～ | | | |
| 制作／著作 | 京都市、同志社女子大学 | | | |
| ライフステージ | 中学生期 | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) |
| | | | 成人期 (特に高齢者) | ※ポータル登録修正必要 |
| 領域 | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 京都市と大学の学生が連携して作成したRPG(ロールプレイング・ゲーム)風の動画(再生時間:11分26秒)。 ● インターネットトラブル(特に有料動画サイトに誘導される架空請求の手口や注意すべき点)を解説している。 | | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|---|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 中・高校生、大学生、一般の方を対象に啓発講座やイベントをする人(中・高等学校の教員、大学生、消費生活相談員等) | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大学生が中・高校生や一般の方を対象に実施する啓発講座やイベント(投影) ● 大学生向けの啓発講座(注意喚起) ● 中学校、高等学校の家庭科、情報科等の授業 ● 消費生活相談員が一般の方を対象に実施する啓発講座 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書はないので、最近のネットトラブル(架空請求、詐欺の事例)とその対処法についての基礎知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 投影には、パソコン、プロジェクター、スクリーン等 ● YouTubeの動画配信が見られるインターネット環境 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画の再生時間は11分26秒 ● 授業や講座(50～90分)の中で上映可能 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「架空請求トラブル」以外の動画は京都市のホームページに掲載されていない(平成28年3月現在)。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | | | | | |
|----------|--|------|---------|------|---------------|---------------|----------------|-------------|
| 登録 | 5 | 冊子教材 | | | | | | |
| タイトル | マイナンバー制度について | | | | | | | |
| 制作／著作 | 内閣府大臣官房番号制度担当室 | | | | | | | |
| ライフステージ | 幼児期 | 小学生期 | 中学生期 | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) | 成人期 (特に高齢者) | ※ポータル登録修正必要 |
| 領域 | 生活の管理と契約 | | 情報とメディア | | | | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバー制度の基本的な内容について説明しているPDF資料 ● パワーポイント(36スライド)を基に作成され、ポイントが整理されている。 | | | | | | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|---|---|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバー制度の基礎的な内容を知りたい人・伝える立場の人 ● マイナンバー制度について講義の補足説明資料に使いたい人 (例:自治体の職員、消費生活相談員、事業者団体、教員等) | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体での住民・事業者向けのマイナンバー制度の説明会 ● 教員や講師がマイナンバー制度について学ぶ参考資料にしたり、資料の一部を講義資料として活用できる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書はないので、社会保障、税金、年金、個人情報に関する基礎的な知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | — |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 36ページをすべて説明すると1時間程度 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 冊子の内容は平成27年8月現在の情報である。 ● 内閣官房のホームページ「マイナンバー」から、冊子をダウンロードすることができる。 ● 政府広報オンラインに、マイラインに関連する動画や広報物がある。 http://www.gov-online.go.jp | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | | | | | |
|----------|---|---------|---------|-------------|---------------|---------------|----------------|-------------|
| 登録 | 6 | オンライン教材 | 映像教材 | ※ポータル登録修正必要 | | | | |
| タイトル | 動画でみるマイナンバー | | | | | | | |
| 制作／著作 | 内閣府大臣官房番号制度担当室 | | | | | | | |
| ライフステージ | 幼児期 | 小学生期 | 中学生期 | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) | 成人期 (特に高齢者) | ※ポータル登録修正必要 |
| 領域 | 生活の管理と契約 | | 情報とメディア | | | | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバー制度の基本的な内容について説明している動画(再生時間:14分33秒)。 | | | | | | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|--|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバー制度の基礎的な内容を知りたい人・伝える立場の人 ● マイナンバー制度の補足説明資料として見せたい人 (例:自治体の職員、消費生活相談員等) | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体での住民・事業者向けのマイナンバー制度の説明会 ● 教員や講師がマイナンバー制度について学ぶ参考資料にしたり、部分的に講義で活用できる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書はないので、社会保障、税金、年金、個人情報に関する基礎的な知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画再生(投影)には、パソコンまたはテレビ、プロジェクター、スクリーン、スピーカー等 ● 動画配信(政府インターネットテレビ)が見られるインターネット環境 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画の再生時間は14分33秒 ● 講座(60分程度)の中で上映可能 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 内閣府では冊子教材「マイナンバー制度について」を制作しており、内閣官房のホームページ「マイナンバー」から冊子をダウンロードすることができる。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | |
|----------|--|---------|------|-------------|
| 登録 | 7 | オンライン教材 | 映像教材 | ※ポータル登録修正必要 |
| タイトル | 電子紙しばい(なりすまし詐欺) | | | |
| 制作/著作 | 福島県消費生活課 | | | |
| ライフステージ | 成人期 (特に高齢者) | | | |
| 領域 | 生活の管理と契約 | | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者に最近被害が多いなりすまし詐欺の手口と対策を紹介した動画(全6話) ● 県職員(なりすまし詐欺なくし隊)の手書きによる紙しばいの電子版(音声付) ● 【動画内容】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 息子の電話と親心(振り込め詐欺、3分27秒) 2. 好奇心の代償(架空請求詐欺、6分39秒、ショートバージョン4分54秒) 3. 臨時収入にご用心(還付金詐欺、5分23秒) 4. 警察は携札にあらす(劇場型詐欺、4分27秒) 5. 名義貸しの罠(老人ホーム入居権買え買え詐欺、3分6秒) 6. ニュータイプマイナンバー詐欺(マイナンバーに絡む悪質詐欺の事例、5分) | | | |

★学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|--|---|
| こんな方におすすめ | ● 市民、特に高齢者を対象とする啓発講座を担当する人 (特に福島県内の自治体の消費生活相談員、行政職員等) | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市民、特に高齢者を対象に、詐欺被害防止に関わる啓発講座で活用できる。 ● 紙芝居(電子紙芝居)を作成・使いたい人の参考資料になる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | ● 指導書はないので、最近の悪質商法や詐欺の事例と対処法についての基礎知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | ● 動画再生(投影)には、パソコンまたはテレビ、プロジェクター、スクリーン、スピーカー等 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 1つの動画の再生に3~7分程度 ● 啓発講座(60分程度)の中で上映可能 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | ● 福島県(消費生活課)の「消費者教育専用ページ」から、動画をダウンロードすることができる。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | | | | |
|----------|---|---------------|---------------|-------------|--|--|
| 登録 | 8 | オンライン教材 | 冊子教材 | ※ポータル登録修正必要 | | |
| タイトル | Consumer's Why みんな消費者 | | | | | |
| 制作／著作 | 特定非営利活動法人 佐賀消費者フォーラム | | | | | |
| ライフステージ | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) | | | |
| 領域 | 商品等の安全 | 情報とメディア | 消費者市民社会の構築 | 生活の管理と契約 | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大学生が中心となって、専門家(弁護士、司法書士、消費生活相談員)のアドバイスを基に作成された、高校から大学初年次向けの消費者教育テキスト(全160ページ)。 ● 2009年に初版を発行し、内容を更新した2015-16年度版を公開。 ● 【目次】 1. 消費者のwhy 2. 価格のwhy 3. 景品・懸賞のwhy 4. ポイント・マイルージのwhy 5. 表示・広告のwhy 6. 食のwhy 7. 酒のwhy 8. 契約のwhy 9. クレジットカードのwhy 10. 製品事故のwhy 11. 救いのwhy 12. 多重債務問題のwhy 13. 成年後見制度のwhy 14. 消費者行政のwhy 15. TPPと消費者 16. 街に出よう(消費者フェスタSAGA他) | | | | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|---|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生、市民や消費者団体向けに啓発講座を担当する人 (テキストを作成した学生自ら、地域の勉強会やフェスタ等で講義を実施) ● 最近の消費者問題・話題について自習したい人 ● 高校の家庭科・公民科等の教員 | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生や大学生等対象の授業や講座、イベントで、テキストを部分的に活用することもできる。 ● 学生が消費者関連のイベントを実施する際の参考になる。 ● 読み物(自習学習用)としても利用できる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | ● テキストなので特に不要。 簡易実験のやり方についても解説されている。 |
| | 必要な機器類 | — |
| | 実施に必要な時間 | ● テキストからテーマを選び、1コマの授業・講座 (50~90分)で利用可能。 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 佐賀消費者フォーラムのホームページからテキストをダウンロードすることができる。 ● 消費者教育教材資料表彰(消費者教育支援センター主催)の平成26年度優秀賞を受賞。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|--|------------|-----------------------|
| 登録 | 9 | 配布資料 | |
| タイトル | おぼえてください！「間伐材マーク」 | | |
| 制作／著作 | 全国森林組合連合会 間伐材マーク事務局 | | |
| ライフステージ | 小学生期 | 中学生期 | 高校生期 成人期 (特に若者) |
| 領域 | 商品等の安全 | 消費者市民社会の構築 | |
| 教材の概要・特徴 | ● 「間伐材マーク」の紹介と間伐材マークの付いた製品例を紹介したチラシ (A4サイズ1枚)。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|--|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 間伐材マーク、間伐材利用促進の普及・啓発をする人 ● 消費者教育のほか、環境教育やESD教育の担い手 | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 消費者向けイベント等で、間伐材マークや間伐材使った製品の紹介ができる。 ● 倫理的消費(エシカル消費・環境配慮型商品の推奨)の啓発講座 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | ● 指導書はないので、間伐材、間伐材マークの認定についての基礎知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | — |
| | 実施に必要な時間 | ● これ自体は、簡単な紹介と配布程度で利用可能(5分程度) |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 全国森林組合連合会のホームページから資料をダウンロードすることができる。 ● マーク自体の使用については、使用規定が定められている。 ● 啓発講座では間伐材を使った製品の展示・紹介ができるとよい。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|--|------|--|
| 登録 | 10 | 映像教材 | |
| タイトル | 自転車の危険 | | |
| 制作／著作 | 畑村創造工学研究所/危険学プロジェクト | | |
| ライフステージ | 小学生期 | | |
| 領域 | 商品等の安全 | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車に潜む危険を、子供たちに直感的に分かりやすく伝えるための啓発動画（再生時間：11分44分、ダウンロードはできない）。 ● 衝突、転倒、溝にはまる、縁石に乗り上げる等の実験映像を使い、自転車事故のこわさを数値や映像で表現している。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|---|---|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生(とその保護者)を対象に交通安全や製品安全について啓発する人 ● 小学校の生活指導担当教員 ● PTA | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生を対象とする啓発講座(安全指導)。交通安全教室と関連付けて映像を見ることもできる。 ● 保護者を交えた親子講座、子供会の集い、学童保育等での講座。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書はないので、自転車事故の現状や子供の事故についての基礎知識があるとよい。 |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画再生(投影)には、パソコンまたはテレビ、プロジェクター、スクリーン、スピーカー等 ● 動画にアクセスできるネット環境 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画の再生時間は11分44秒 ● 授業・講座(45～60分程度)の中で上映可能 |
| 付属資料 | なし・あり() | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画の再生が不安定な場合があるので、DVD(無償、送料は自己負担)を利用した方がよい。 | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|---|------------|--|
| 登録 | 11 | 冊子教材 | |
| タイトル | 小学校高学年向け製品安全ワークブック 安全な生活を求めて(製品安全教育) 目指せ!製品安全リーダー 製品安全について考えよう | | |
| 制作/著作 | 経済産業省 製品安全課 | | |
| ライフステージ | 小学生期 | | |
| 領域 | 商品等の安全 | 消費者市民社会の構築 | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品安全を確保するための、製造・輸入事業者、販売事業者、使用者の役割、安全を示すマークの意味などを学ぶことのできる教材。 ● 記入式のワークブック(16ページ)、ワークシート(4ページ)、教員向けの手引き(43ページ)があり、学習指導要領を踏まえ、現場の先生方のニーズにあわせた学習プランを用意している。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | | |
|-----------|--|---|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生(高学年)を対象に製品安全について啓発をする人(事業者の消費者・商品安全担当者、消費生活相談員等) ● 小学校(高学年担当)の教員 | | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生(高学年)を対象とする授業や啓発講座(安全指導)。社会科(企業訪問)や家庭科の内容と関連付けながら、「総合的な学習の時間」での実施を推奨している。 ● 家庭学習、保護者を交えた親子講座の参考資料として活用できる。 | | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 特に必要なし(教員向けの手引きに、製品安全に関する補足資料、製品表示マークの意味・解説等が掲載されている。) | |
| | 必要な機器類 | - | |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 手引きにプランA～Eが例示されている(例)プランA 授業＝4単位時間(1単位時間＝45分) 企業訪問＝1時間程度 家庭学習(家庭内調査)の実施 | |
| 付属資料 | なし・ あり (教員向け手引き、ワークシート) | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 経済産業省のホームページ「製品安全ガイド」から冊子をダウンロードすることができる。モデル授業の取組事例の紹介(動画)もある。 ● 中学校技術・家庭科用の「製品安全ワークブック」も制作・掲載されている。 | | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|---|---------------|----------------|
| 登録 | 12 | 冊子教材 | ※ポータルでの登録の変更必要 |
| タイトル | 自分で点検！ハンドブック 住宅部品 これって安全？まだ大丈夫？ | | |
| 制作／著作 | 一般社団法人 リビングアメニティ協会 | | |
| ライフステージ | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) |
| 領域 | 商品等の安全 | | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 住宅の設備・建材の事故につながる不具合や異常の有無を、自分で点検することができるイラスト入りハンドブック(全16ページ、PDF)。 ● 【目次】 キッチンまわり、浴室まわり、洗面・トイレまわり、給湯機器まわり、居室まわり、外装まわり ● 不具合を放置した場合の事故事例や危険性をアイコンで表示し、点検が必要な場所や住宅部品を具体的に掲載している。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生、大学生、一般消費者を対象とする啓発講座を担当する人 ● 住宅関連の事業者の安全点検・啓発普及担当者 ● 高校の家庭科の教員 ● 家庭で自主的に住宅部品・製品の点検をしてみたい人 | | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 消費生活展等の消費者向けイベントや、安全点検促進の啓発講座。 ● 高校の家庭科(住生活)の授業 ● 高校生、大学生、一般消費者の自主学習用として活用できる。 | | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | ● 指導書はないので、住宅部品(長期使用製品)の安全点検制度と家庭内での製品に関わる事故の基礎知識があるとよい。 | |
| | 必要な機器類 | — | |
| | 実施に必要な時間 | ● 高校の授業(50分)・大学の授業(90分)で配布して部分的に利用可能 | |
| 付属資料 | なし・あり() | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● リビングアメニティ協会のホームページにある「住宅部品の点検・施工チェックツール」から、冊子をダウンロードすることができる。ダウンロードは無料であるが、製本された冊子は有料。 | | |

◆消費者教育教材評価書

| | | | |
|----------|--|---------------|---------------|
| 登録 | 13 | オンライン教材 | |
| タイトル | Web版消費者教育読本 もしも未来が見えたなら～いつかクレジットカードを使う日に～ | | |
| 制作／著作 | 東京都消費生活総合センター | | |
| ライフステージ | 高校生期 | 成人期 (特に若者) | 成人期 (成人一般) |
| 領域 | 生活の管理と契約 | 情報とメディア | |
| 教材の概要・特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● クレジットに関する基礎知識や実践力を身に付ける主に高校生向けの教材。クレジットカードの作成や買い物の疑似体験、ワーク、〇×クイズが盛り込まれている。 ● 【目次】(ステージ1)「クレジットカードを作ってみよう」(全約18分) (ステージ2)「クレジットカードで買い物をしてみよう」(全約18分) (ステージ3)「クレジットカードは計画的に利用しよう」(全約12分) ● 指導書(全36ページ、授業展開例・ワークシート解答例付)、指導者用資料(パワーポイント45スライド)、ワークシート(3種、各2枚)、利息計算用プログラム(エクセル)があり、学習指導要領を踏まえ、現場の先生方のニーズに配慮している。 | | |

★ 学校の授業や地域での講座で、担い手(教員・講師等)が使用・選ぶ際に役立つ情報

| | | |
|-----------|---|---|
| こんな方におすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校の家庭科の教員 ● 高校生、大学生等を対象とする啓発講座を担当する消費生活相談員 | |
| 活用の場面 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校の家庭科の授業、大学の授業 詳細は、指導書の教材紹介と授業展開例を参照のこと。 ● (教員等の指導・助言のもと)高校生の自主学習用に利用することもできる。 | |
| 利用にあたって | 必要な予備知識・スキル | <ul style="list-style-type: none"> ● 特に必要なし (指導書の第3章に関連する法律の解説がある。) |
| | 必要な機器類 | <ul style="list-style-type: none"> ● 投影には、パソコン、プロジェクター、スクリーン等 ● パワーポイント、エクセル、フラッシュ動画再生ソフト ● オンライン教材にアクセスできるインターネット環境 |
| | 実施に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 指導書(第4章)に高校家庭科での授業展開例が示されている 家庭基礎(本教材時間数:2時間/指導時間数:4時間) 家庭総合(本教材時間数:3時間/指導時間数:8時間) 生活デザイン(本教材時間数:3時間/指導時間数:8時間) 専門教科「家庭」の消費生活(本教材時間数:3時間) |
| 付属資料 | なし・ あり (ワークシート、指導書等) | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都のホームページ「東京くらしWeb」から、指導書、指導者用資料、ワークシート、利息計算用プログラムをダウンロードすることができる。 ● 「東京くらしWeb」で他のWeb版消費者教育読本を見ることができる。 http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/kyouzai/webkyouzai.html | |

3. 消費者教育ポータルサイト掲載情報の評価に向けた今後の課題

今回、教材評価書を試行的に作成して検討を行った結果、今後、消費者教育ポータルサイトに掲載されている教材を評価していくに当たって、以下のような課題を解決していく必要があると考えられる。

① 教材情報の登録内容の見直し

教材の評価に当たり、消費者教育ポータルサイトに登録されている教材の基本情報（種類、ライフステージ、領域等）を確認したところ、実態にそぐわない点が散見された。例えば、情報提供者からは「オンライン教材」として登録されているが、オンライン上で動画が見られる形式のものは、「映像教材」という分類の方が、利用者にとっては分かり易いと思慮される。また、ライフステージの分類として「幼児」や「小学生」も含めて登録されているが、教材の内容は幼児や小学生にとっては、見た目（文章上の漢字に読み仮名がふられていない等）にも内容的にも難解な内容が扱われているものも見受けられた。

よって、情報提供者が登録する基礎情報については、ポータルサイトの管理者が掲載前に確認を行い、情報提供者と調整の上、実情に即した情報を掲載していく必要がある。また、既に掲載済のものについても、実情に即した見直しが必要な場合には、情報提供者と調整の上、情報を更新していくような対処も必要である。

② 評価書の表示面での工夫

今回の教材評価書では、各項目についての評価を文字情報で記載している。評価内容を利用者が端的に分かり易くするために、「こんな方におすすめ」や「活用の場面」、「実施に必要な時間」等について、アイコン（イラストやマーク）を用いて表示する等、表示面での工夫（ビジュアル化等）を図っていくことが必要である。

③ 教材の活用事例の紹介

今回評価した教材の中には、教材を掲載しているホームページにおいて、モデル授業の様子が動画で掲載されているものがあり、こうしたモデル的な活用事例を収集して紹介していくことも、利用者による教材等の選択において有益と考えられる。

一方、消費者教育ポータルサイトには、講座や取組の情報も掲載されているが、これらは必ずしも登録された教材を活用した授業・講座の実践事例が掲載されているとは限らず、詳細結果画面においても教材情報とのリンクまでは図られていない。このため、ポータルサイトに掲載された教材、講座、取組に関する情報において関連付けが図られるような情報の収集や掲載の工夫についても検討していく必要がある。

また、教材の活用事例の収集においては、学校の教員や講座の講師、自主学習をしている人に依頼あるいは取材を行い、「おすすめの教材」や、こうした教材の活用方法について紹介するコーナー（コンテンツ）を設けることも考えられる。

④ キーワード検索の改善

消費者教育ポータルサイトでは、教材の対象やカテゴリー等に応じた検索のほか、キーワードで検索をすることができるようになっている。しかしながら、現状のシステムでは、情報提供者によって登録されたキーワードと検索ワードとが完全に一致しなければ、意図した検索結果に至らないケースが散見されている。このため、教材を評価するに当たっては、情報提供者によって登録されたキーワードについても検証を行い、適切な検索結果が得られるようなキーワードが登録されるよう工夫する必要がある。

具体的には、情報提供者向けにキーワード登録に関するマニュアルを整備する、ポータルサイトの管理者が情報提供者によって登録されたキーワードを検証し、必要に応じて情報提供者に登録内容の是正を求めるといったことが考えられる。

⑤ 評価書・評価情報の掲載の仕方に関する検討

今回は、利用者にとって教材の検索を容易とするために示すべき情報を整理する観点から、試行的に教材評価書という形で教材の評価を行ったが、この教材評価書で示された評価情報を消費者教育ポータルサイトにどの程度、且つ、どのようにして、反映・掲載していくのかといった検討を深めていく必要がある。利用者に示すべき情報の内容、同情報の反映・掲載の仕方によって、利用者の教材検索上の利便性は大きく左右されると考えられる。

例えば、掲載方法としては、現在の検索方法で表示される教材の詳細結果画面に評価情報を追記したり、「おすすめマーク」のようなアイコンにリンクを設定して、別途評価書を表示させる方法等が考えられる。更に、教材の検索時に評価情報に関するキーワードを加えて絞り込むことも有益と考えられるが、その場合、検索に適した評価情報である必要があるほか、システム的な制約を考慮する必要もある。

当面は、新規に掲載した教材等について、評価した情報をポータルサイトのトップページにある新着情報やトピックスの欄において順次紹介していくことが考えられる。この際、教材等に関する評価方法について利用者から意見を求めることも、有益と考えられる。

⑥ 評価情報の更新方法の検討

今回の検討会では 13 の教材について試行的に評価を行ったが、消費者教育ポータルサイトに登録されている教材等の情報は膨大であり、情報提供者により掲載情報の随時更新も行われていることもあって、評価に当たっては効率的に行っていく方法を検討する必要

がある。

また、誰が評価するのかという課題もあり、専門家・有識者による評価のほか、ポータルサイトの利用者や教材の利用者による評価を常時収集して活用していく方法も考えられる。この点、現在のシステムには、教材を利用した感想や意見を投稿で収集する仕組みがあるが、SNSの「いいね！」や、通販サイトの「おすすめ！」のような投稿がリアルに確認できる仕様とはなっていない。このため、サイト利用者や教材利用者からの評価情報をどのように収集し、それをどのように反映・掲載していくかについて、検討していく必要がある。

**平成 27 年度消費者庁請負事業
消費者教育ポータルサイト掲載情報
に関する評価書作成事業
報告書**

平成 28 年 3 月

発 行 公益財団法人 消費者教育支援センター
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-17-14
全国婦人会館 3 階
TEL : 03(5466)7341 FAX : 03(5466)2051